

名古屋市立大学の地域貢献

明るい未来を切り拓く

全国1位



ごあいさつ

名古屋市は、従来より先端的な研究と細やかな教育に取り組んでいます。それと同時に、大学の重要な使命である「社会貢献」を果たすべく、平成26年度に「社会連携センター」を設置しました。本センターでは、地域の皆さまからの連携事業や講師派遣に関するお問い合わせについて、「総合窓口」として連携内容のご提案や本学教員とのマッチング等を行うことで、本学の社会貢献活動の推進に努めております。

本学は7学部8研究科および6つの附属病院群を有し、幅広い専門分野を活かした多様な社会貢献活動を展開しております。本パンフレットでは、行政・地域団体・企業との連携による地域課題の解決や地域医療への貢献、生涯学習講座の提供など、本学の社会貢献活動の一端をご紹介します。皆さまに、名古屋市が取り組んでいる活動実績を知っていただくとともに、さらなる連携の縁としていただければ幸いです。

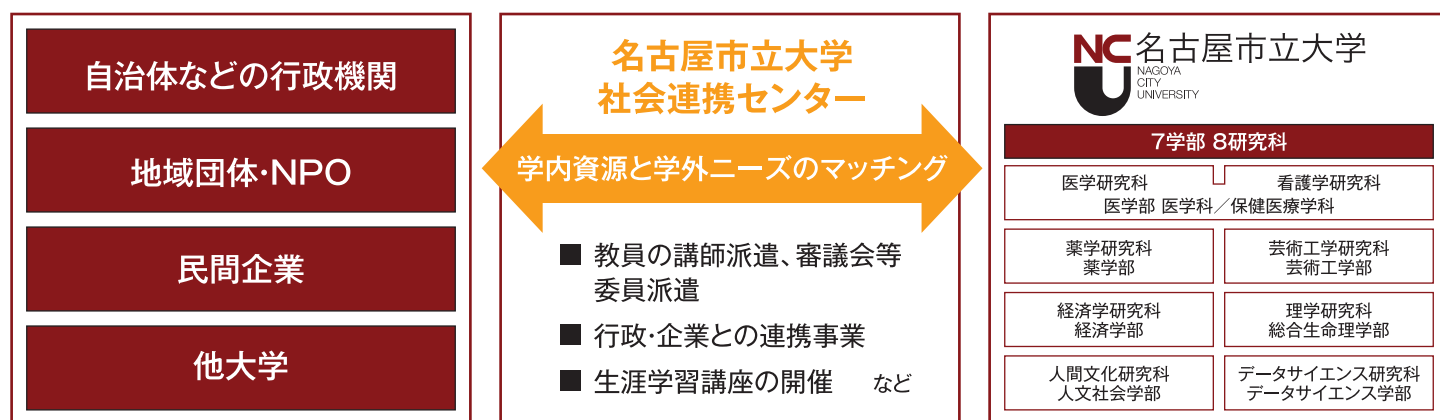
全学を挙げて実施している社会貢献に資する多様な取り組みは、「大学の地域貢献度に関する全国調査2023」の総合ランキングで全国1位を獲得するなど、高い評価も受けております。今後とも、地域の知の拠点として、一層努力してSDGsの達成や地域貢献に寄与できる活動を推進してまいります。引き続き皆さまからの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

社会連携センター長 吉永 和加

社会連携センター

大学には教育、研究成果等の資源を活用し、市民、地域社会、企業等と協働し、社会貢献を行うことが求められています。社会連携センターでは、皆さまから連携事業や講師派遣などのお問い合わせがございましたら、総合窓口として、本学教員とのマッチングを行います。

「大学の力で地域の課題を解決したい」「講座の講師をお願いしたい」などのお悩みには、私たちが相談相手になりますのでお気軽にご相談ください。



地域貢献度ランキング 第1位

令和5年11月6日発行の『日経グローバル』にて、「大学の地域貢献度に関する全国調査2023」の結果が発表され、総合ランキングにおいて全国トップとなり、令和3年の調査に続き2連覇を果たしました。地域貢献度ランキング全国1位という結果は、日頃よりご支援いただいている地域の皆さまと一緒に達成したものです。今後もより一層のご協力の程よろしくお願いいたします。



病院における地域医療への貢献

名古屋市立大学附属病院群では、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成しています。

■名古屋市総合リハビリテーションセンターの附属病院化

令和7年4月に、名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院が本学医学部の附属病院となり、「名古屋市立大学医学部附属リハビリテーション病院」に生まれ変わりました。

これにより、市立大学病院・東部医療センター・西部医療センター・みどり市民病院・みらい光生病院とあわせて、2,223床の病床数となりました。6つの病院からなる附属病院群として、各病院が特長を活かしながら、高度急性期から慢性期まで幅広い医療を提供していきます。



■ドクターカーの運用

名古屋市消防局との協働により、傷病者のさらなる救命率の向上と病態悪化の防止を目的として、ドクターカーの運用を開始しました。



■名古屋市ジュニアアスリートメディカルチェック

市立大学病院にて、計4回、様々なスポーツのジュニアアスリートを毎回約20名集めて、講義とメディカルチェックを行いました。



■新型インフルエンザ実地訓練

東部医療センターでは、名古屋市健康福祉局と連携し、「新型インフルエンザの発生」を想定した実地訓練を行いました。訓練では、名古屋市内でまだ患者が確認されていない段階における、疑い患者への対応を確認しました。



行政との連携

名古屋市をはじめとする行政機関と連携し、豊かで魅力ある地域社会づくりを進めています。

名古屋市子ども応援委員会チーム会議への参加

市内17か所の子ども応援委員会に年2回ずつ医師スタッフ総出でチーム会議に参加して相談を受けています。



災害用備蓄飲料水「名水」のパッケージデザイン・マーケティングの企画

名古屋市上下水道局と連携し、経済学部専門科目「商品開発」において、災害用備蓄飲料水「名水」のパッケージデザイン・マーケティング提案の企画立案に取り組みました。



外国人住民向けの手続きを紹介する動画の作成

名古屋市中区と連携し、人文社会学部の学生が外国人住民が区役所で行う手続きの方法について紹介するためのショート動画を制作し配信しました。



サイエンスパートナーシップイベント「宇宙科学の深淵とロマン」

名古屋市科学館と連携し、中高生を対象に「宇宙」の魅力を伝えるとともに、名古屋市大の最先端の研究や国内有数の規模を誇る科学館の魅力を紹介しました。



瑞穂区民まつりへの留学生の参加

本学留学生が瑞穂区民まつりに参加しました。「世界の言葉であいさつしよう」というテーマで、それぞれの出身国のあいさつを市民の方へ紹介し交流しました。



アジア・アジアパラ競技大会PR動画の制作

名古屋市スポーツ市民局と連携し、芸術工学部の学生が第20回アジア・アジアパラ競技大会に向けたPRのための動画を制作し配信しました。



おおぶわいわいこどもトークへの参加

大府市と連携し、人文社会学部の学生が大府市内の小学3年生から6年生の子どもたちと「大府市にほいこどもの居場所」をテーマに話し合いました。



愛知万博20周年記念事業への参画

愛知万博20周年記念事業のひとつである「彩の回廊(いろどりのかいろう)」に参画し、芸術工学研究科・芸術工学部の学生が作品を展示しました。



サイエンス実践塾

愛知県経済産業局、愛知製鋼株式会社と連携し、データサイエンス学部の教員・学生の協力のもと、高校生を対象に大学や研究施設を会場とした実習体験や施設見学、交流会を実施しました。



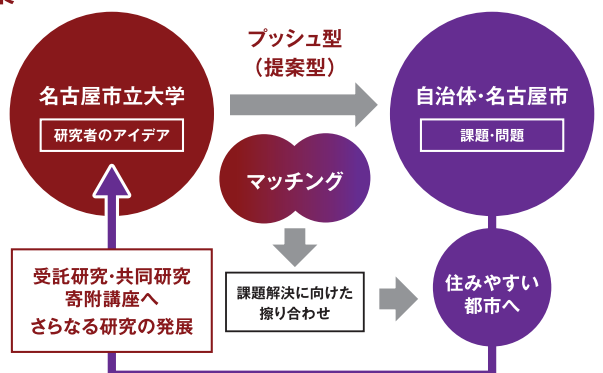
JR蘇原駅前広場のデザイン

各務原市と連携し、芸術工学研究科の教員・学生を中心にJR蘇我駅の駅前広場のデザインを検討しました。



共創まちづくり研究推進事業

本学の研究シーズと地域ニーズをマッチングしながら、名古屋市をはじめとした多様な主体と連携・協働し、行政課題、地域課題の解決や地域の発展に向けた取り組みを開始しました。



地域住民・団体との連携・交流

地域に根ざす公立大学として、地域の課題解決・活性化に取り組んでいます。

薬用植物園市民公開講座



田辺通キャンパスにある薬用植物園を一般公開し、薬学研究科の教員・学生の協力のもと、栽培している植物の特徴や利用方法について解説しました。



AIプログラミング教室



名古屋少年少女発明クラブと連携し、理科学研究科の教員が、人工知能のプログラミングについて中学生を対象に講義と演習を行いました。



学生のための脳科学フェス

全国の大学生を対象に、医学研究科主催にて講演やラボツアーを開催し、脳科学の最先端とその魅力を紹介しました。



名古屋市立大学医学研究科 脳神経科学研究所

学生のための脳科学フェス

文系・理系を問わず、学内・学外全ての大学生・大学院生を対象に脳科学の最先端とその魅力を紹介します。ラボツアーで研究の様子を見て、講演者や大学院生と直接交流するチャンスです。

6月8日(土) 午後2時～

- ★ 現地(名古屋市立大学) & Zoomのハイブリッド開催
- ★ 要参加登録(6月7日(金) 午後2時まで)
- ★ 詳細 & 問い合わせ: <https://ibs.med.nagoya-cu.ac.jp/>

★ 研究者によるミニ講演

津本和哉 教授「失われた脳細胞を再生するには？」 高橋雅也 教授「認知ってなんだろう？」

山口和弘 教授「てんかん・自閉症の遺伝的調査」 中村大輔 教授「ミトコンドリア 脳神経の鍵と対話」

河野清江 講師「脳をうつてなに？」 野村生 高田清彦 教授「記憶の不思議な力(認知)」 など

★ 大学院生の声

★ 参加者同士および講演者、大学院生との交流

★ ラボツアー

Nagoya City University IBS

名古屋市立大学医学研究科 脳神経科学研究所は、本イベントをはじめ、高校生を対象とした「大学ふたつと研究でつながる」・一般市民を対象とした「オープンラボ」・「市民公開講座」・医療関係者向けの「脳科学大 医療・保健 学びなおし講座」への参加を通じて、脳神経科学の知識の向上と社会の実用を目指しています。

<https://ibs.med.nagoya-cu.ac.jp/>

主催：名古屋市立大学医学研究科 脳神経科学研究所

都市政策研究センターシンポジウム



「大規模災害支援から考える大都市の役割」をテーマにシンポジウムを開催し、地域・医療機関・行政といった多様な視点から、能登半島地震の被災地支援を通じて見えた課題について話し合いました。



大学史資料館シンポジウム



創立140周年を迎えた薬学部を取り上げ、伝統ある薬学部の歴史、江戸時代における薬の意義、今後の薬学研究への期待について講演を行いました。



地域行事への積極的参加



NPO法人と連携し、経済学部の学生が、地域活動の活性化・伝統文化の保護を目指して、近隣地域の祭りやイベントに積極的に参加し、運営への協力を行いました。



NCUサステナビリティ・プレゼンアワード2024「衣」から考えるSDGs



「衣」をテーマに高校生・大学生の自由な発想でSDGsに関する「問題提起」と「解決・改善策」を提案するプレゼンテーション大会とワークショップを実施しました。



企業との連携

教員の知識を還元しています。また、教員の指導のもと、学生ならではの視点による実践的な調査・研究を行い、企業に企画提案を行っています。

伊藤手帳株式会社と連携した日記の商品化



伊藤手帳株式会社と連携し、「デジタル化時代に必要の手帳」というテーマで経済学部が考案した「パッチワーク日記」を商品化しました。



株式会社あいち銀行との共催イベント

株式会社あいち銀行と連携し、経済学研究科の教員の指導の下、小学生を対象にした体験型の学習イベントを開催し、アントレプレナーシップ(起業家精神)について理解を深める機会を提供しました。



JAFと連携した交通安全の啓発活動

JAF(一般社団法人 日本自動車連盟)と連携し、名古屋市大保育スクール「ほぼんた」の学生が、幼稚園・保育所へ訪問し、子どもたちへ交通安全指導を行いました。



株式会社丸天産業のCI刷新プロジェクトに参画

株式会社丸天産業と連携し、芸術工学研究科の教員・学生が株式会社丸天産業のCI(コーポレート・アイデンティティ)および企業ロゴの更新プロジェクトに参画しました。



審議会等委員への教員派遣

本学の教員が自治体などの各種審議会等委員に就任し、政策形成等に寄与しています。

主な審議会等への就任実績

- 名古屋市エイズ対策懇談会
- なごや子ども・子育て支援協議会
- あいち商店街活性化委員
- 科学データ利用委員会

審議会等委員就任人数(令和6年度延べ数)

246名

(内名古屋市役所:131名)

大学・病院施設 地域への提供

各種資格試験や学術講演会などの開催会場として、教室・ホール・会議室などの大学・病院施設を一時貸付しています。
また、学術研究を目的とした市民の方に対する所属図書等の閲覧・貸出も行っております。

■令和6年度の実績

大学・病院施設の貸付件数	図書館の市民利用者数
1,182件	1,053名

生涯学習講座

一般向け講座

幅広い世代の方への生涯学習機会の提供を目的に、年間を通して講座を開催し、大学の知見を市民の皆さまに還元しています。



「市民公開講座」の様子

■市民公開講座

7学部8研究科及び6つの附属病院を持つ本学ならではの講座として、多彩なテーマを揃え、市民の皆さまに専門的な知識を分かりやすく解説しております。



■サイエンスカフェ

科学について市民と科学者がお茶をしながら気軽に話し合う場です。研究者が市民の輪の中に入って科学の話題を提供し、皆で考えながら科学への理解を深めます。



■地域連携セミナー

保健医療福祉関連職種の方々や市民の皆さまと連携して取り組むべき社会的な問題をテーマに、講義を行っています。



学びなおし講座

学校教育から離れた後も生涯にわたって学び続ける機会を提供し、キャリアアップや職場復帰のサポートをしています。



「最新医学講座オープンカレッジ」の様子



「なごや看護実践セミナー」の様子

■最新医学講座オープンカレッジ

基礎・臨床分野が蓄積している最新の研究情報を市民の皆さまにわかりやすく解説しております。



■なごや看護実践セミナー

看護実践の中で抱いた疑問や課題を解決したい方、実践に活かせる知識・技術を身に付けたい方に向け、複数のセミナーを開催しております。



■医療・保健学びなおし講座



■東海薬剤師生涯学習センター講座



■看護研究のすすめ



■看護研究サポート



■名古屋市立大学薬学部卒後教育講座



■進化型実務家教員養成プログラム(TEEP)



小中高生向け講座

小・中・高校生を対象とした講座を行い、研究の面白さなどを伝え、進路について考える機会を提供しています。



「NCUグレイド・スキップ・チャレンジ」の様子

■NCUグレイド・スキップ・チャレンジ

名古屋市立高校の学生を対象に、夏季休業期間の4～5日間だけ高校から大学に飛び級(Grade Skip)して、実際に大学水準の調査・研究活動を体験してもらいます。



■大学丸ごと研究室体験



■高校生向け授業公開



■ナゴヤ小中学生STEAMラボ



■教えて博士!なぜ?なに?ゼミナール



知の広場

本学主催の生涯学習講座は、生涯学習情報誌「知の広場」にて紹介しております。



書籍で社会貢献『名市大ブックス』シリーズ

令和2年10月、名古屋市の新たな社会貢献活動として、自宅などで手軽に知識・教養を得られるよう書籍シリーズ『名古屋市大ブックス』を創刊しました。医療系学部を有する総合大学の強みを活かし、本学の医師・教員らが「健康・医療」をはじめ、「データサイエンス」や「名古屋の歴史」まで多彩なテーマについてわかりやすく解説しています。

令和7年5月現在、第1～20巻が発売され、好評を得ています。今後も新刊の発刊を予定しており、さらなる貢献を目指しています。



本学との連携・講師派遣等を希望される方へ

教員・学生の力を
借りて、地域課題を
解決したい！



イベントの中で、
専門知識を分かりやすく
解説・講義してほしい!



事業・会議に
アドバイザーとして
参画してほしい!



連携内容・講演内容等が具体的に決まっていない場合でも、まずはお気軽に「社会連携センター」にご相談ください。担当者が相談内容に応じたご提案をさせていただきます。

社会連携センター(企画課内)

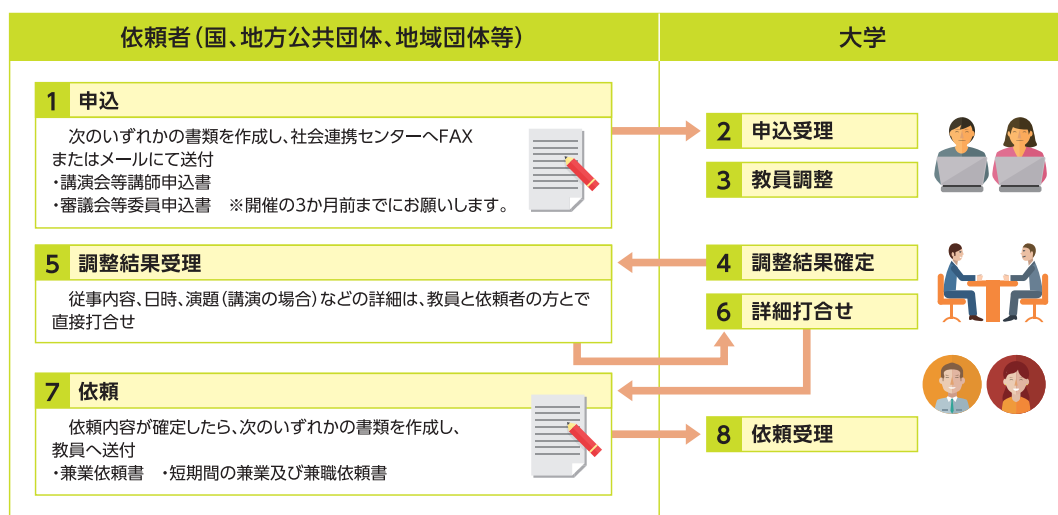
TEL:052-853-8308

Mail : shakaikoken@sec.nagoya-cu.ac.jp

・連携・講師派遣等の令和6年度実績についてはパンフレットの中身を参考にしてください。

・講演会等講師・審議会等委員について、既に依頼内容・依頼先の教員が決まっている場合は、下記「講演・審議会等への教員派遣 依頼の流れ」に沿ってお申し込みください。

講演・審議会等への教員派遣 依頼の流れ



※申込書等各書類の書式はウェブサイトからダウンロード可能です。

※調整した結果、お引き受けできない場合もございますので、何卒ご了承ください。



WEB版地域連携事例集

本学が行った地域連携事例について、大学ウェブサイト上でも公開しております。本パンフレットに載せきれなかったものも多くございますので、ぜひご覧ください。



発行
(令和7年5月)

名古屋大学 社会連携センター(企画課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 TEL:052-853-8308 Mail:shakaikoken@sec.nagoya-cu.ac.jp

※このパンフレットは再生紙を使用しています。